



小鹿地域活動だより

バンビ

平成18年11月号 10月31日配布
発行：小鹿自治公民館

役場地域振興課 電話：43-3515
FAX：43-0647

Eメール：oshika@town.misasa.tottori.jp
ご意見・ご感想をお寄せください

地域協議会の状況

10月24日に、発起人会の素案を基に集落の代表である区長さんと意見交換をしました。

代議員制の代議員を人数的に出せない、集落選出の部員ですら困難
4年委員の位置づけや必要性は
会長の任期が短いのでは、区長会長よりもっと適任者があるのでは
区長の世代が若く、協議会の会長の負担が大きくなるのでは

など活発な意見交換を行ないました。

今後、設立準備会や元気な小鹿づくり研修会で意見をまとめ、小鹿地域の将来を見据えた地域に合った組織づくりを目指して行きます。
地域のみなさんの積極的な参加と協力をお願いいたします。

先進地視察の報告

10月17日から18日にかけて、発起人の馬野保さんと馬野忠嗣さんを含む各地域の代表の方と役場地域振興課の職員が広島県安芸高田市・川根振興協議会に視察に行ってきました。

荒れた田んぼが無く、綺麗な農村風景の地域であった。

川根のきっかけは、川の氾濫による壊滅的な被害を受け、さらには過疎化が進行していった。「この災害は人災であり、特に行政の不作為から発生した」との思いを強め、「行政に頼るのではなく、自らの地域は自らで守ろう」と決意

取り組みに対し最初は冷たい目で見られたが、30年経過した現在では地域一丸となって精力的に活動している。

地域内利害調整機能を一括して扱う一方で、地域内の要望の集約を行い、行政に対し要望する機能を有し、また行政が提供するサービス以上のものを提供するため、独自の事業を行っている。

高度な自治を実現する要因 危機感とミッションの共有 明確な戦略 行政との協働関係 会長の強力なリーダーシップ 長期の自治醸成期間 が必要。

